

2014年7月14日

全国大学国語教育学会

2014年度 学会通信 第1号

全国大学国語教育学会広報部門

◆第127回 筑波大会のご案内（第1次）

筑波大会実行委員長・塚田泰彦（筑波大学）

■第127回大会の開催日程、場所等は以下の通りです。

開催日 2014年11月8日（土）、9日（日）

場所 筑波大学（筑波キャンパス）

〒305-8577 茨城県つくば市天王台 1-1-1

＊編集委員会、常任理事会は、前日の11月7日（金）「オークラフロンティアホテルつくば」（つくばエクスプレスつくば駅徒歩2分）にて行います。なお、編集委員会、常任理事会、理事会の議事案内、出欠確認は学会事務局からご連絡いたします。

■学会参加については、事前申し込みとなります。

（JTBより参加申込書等が、学会員に郵送されます。9月ごろ予定。）

■大会2日間の概要（予定）

会場：筑波大学（筑波キャンパス・第2エリア）

<第1日目 11月8日（土）>

午前：自由研究発表

昼：理事会

午後：総会

シンポジウム テーマ：「国語教育史の第三次的研究」

コーディネーター：甲斐雄一郎

登壇者：大高泉、坂口京子、八木雄一郎

夕刻：懇親会

<第2日目 11月9日（日）>

午前：課題研究 テーマ：「国語科カリキュラムの再検討(3)－言語文化の観点から－」

コーディネーター：松山雅子

登壇者：渡辺春美、町田守弘、村上呂里

午後：自由研究発表

公開講座 テーマ：「国語科授業の単元的展開①」
コーディネーター：上田祐二
登壇者：今宮信吾、笠井正信、平松はるみ

◆第127回 筑波大会自由研究発表者の募集について

筑波大会実行委員長・塚田泰彦（筑波大学）

1. 募集区分 自由研究発表 *ラウンドテーブルの実施はいたしません
2. 発表申込み手順

(1) 申込み

申込にあたっては、次の①から⑦の情報を以下の(ア)(イ)いずれかの方法でご連絡下さい。

発表申込み締切:8月18日(月)必着

- *締切後は受け付けません。会場の許容数に達した場合は、大会事務局の判断により発表をお断りさせていただく場合もございます。予めご容赦ください。
- *発表日の指定はできません。
- *発表時間は20分、質疑応答10分です。

- ①題目(申込後の題目の変更はできません。ご注意ください)
- ②氏名・ふりがな
- ③所属(所属、職名)
- ④住所、電話番号(必ず連絡の取れる番号をお書き下さい)
- ⑤Eメールアドレス
- ⑥プロジェクター使用希望の有無(プロジェクターはVGA(アナログRGB D-Sub15ピン)端子のみ可です。パソコンは発表者で準備下さい。接続の準備時間も発表時間に含まれます)
- ⑦共同発表者の氏名・所属(いない場合には不要です)

(ア)インターネットによるお申込……次のURLにアクセスし上記の①から⑦について記入の上送信して下さい。QRコードからもアクセスできます。

URL: <http://goo.gl/kLhzaR>

※自動返信メール(受理確認)を必ず確認して下さい。Eメールアドレスが正しく記入されていないと返信メールが届きません。自動返信がない場合には再度申し込み下さい。



(イ)往復はがきによるお申込み……上記の①から⑦をご記入の上、以下の筑波大会事務局までお願いいたします。(⑤Eメールアドレスがない場合には不要です)

*返信はがきに、自分宛の郵便番号、住所、氏名を必ず記入して下さい。

筑波大会事務局(実行委員長)

〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1

人間系教育学域 塚田泰彦 宛

E-mail: tsukada@human.tsukuba.ac.jp

TEL&FAX 029-853-6732

*大会全般のお問い合わせもこちらへ

*お問い合わせの際はできるだけEメールをお願いします。

(2)発表要旨集の原稿の郵送

発表申し込み者は、以下の要領で要旨集の原稿を郵送してください。

・郵送先……上記の筑波大会事務局 宛

要旨郵送締切:9月30日(火)

*締め切り後のものについては、題目・所属・氏名のみの掲載となります。

*要旨のテンプレートは、学会ホームページ(<http://www.gakkai.ac./JTSJ/>)の「テンプレート集」にあります。要旨は4ページ以内をお願いします。プリントアウトしたものを一部郵送して下さい。プリントアウトされたものをそのまま製本し要旨集を作成いたします(メール添付不可)。

(3)当日発表資料について

自由研究発表で当日発表資料のある方は、150部を発表当日に会場までご持参下さい。なお、会場校では印刷などの対応は一切できません。

◆『国語科教育』第77集 投稿募集について

第77集編集委員会

1. 投稿論文は、2014年8月1日(金)から8月31日(日)(消印有効)までの期間に受け付けます。
2. 原稿の送付先は下記の通りです。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 (株)国際文献社内
全国大学国語教育学会事務局宛

3. 封書にはかならず「投稿原稿在中」と朱書き書留で郵送してください。

4. 以下の『国語科教育』投稿要領に従ってください。

(投稿要領にご注意ください)

『国語科教育』投稿要領

1 論文原稿は未発表のものに限る。ただし、口頭発表、プリントの場合はこの限りではない。なお、他誌に投稿する論文と著しく重複する内容の論文を、投稿してはならない。

2 募集枠は、以下に示す「研究論文」「実践論文」「資料」の三つのカテゴリーとする。どの枠に応募したものであるかがわかるように、そのことを題名の前に明記する。ただし採択の枠付けは、編集委員会の最終的な判断によるものとする。

研究論文：独創的な知見を含む学術研究

実践論文：国語科の先行実践をふまえて、新たな実践の方向性や意義・価値について学術的な根拠に基づいて論じたもの。

資 料：国語教育学に関する基礎的データや国語教育の実践・研究に関する情報を提示したもの

3 連続掲載は、原則として2回までとする。

4 論文原稿は、縦書きまたは横書きで原則としてパソコンを使用する。

5 編集委員会において特に枚数を指定するもの以外の論文原稿は、原則として400字詰原稿用紙ほぼ40枚（8ページ分）以内とし、1ページあたりの字数・行数を次のようにする。

(1) 横書きの場合

23字×44行×2段（1ページ2,024字、ただし最初の1ページは、題目・氏名のスペースとして7行2段をとる。）

(2) 縦書きの場合

33字×31行×2段（1ページ2,046字、ただし最初の1ページは、題目氏名のスペースとして7行2段をとる。）

* 学会ホームページに記載している、投稿原稿用のテンプレートを使用すること。

* 引用および注の文字ポイントは本文と同じとする。ただし、図表についてはこの限りではない。

* 図表は本文の中に含めて計算し、本文内に該当箇所を明示することとし、縮小率は8割以上とする。

6 原稿は以下の体裁で整えること。

(1) 論文本体

* 論文には氏名・所属等、書き手を特定できる情報は書かないこと。

(2) 注（ただし、引用のための注はつけない）

(3) 参考文献

* 論文本体や注、参考文献に「拙稿」「拙著」など、投稿者名が判明するような記

述を行わないこと。

7 投稿に際しては以下のものを同封する。

(1) 電子媒体 (OS 名と作成ソフト名を記載すること)

(2) 打ち出し原稿 4 部 (複写でよい)

(3) 投稿者情報 (A 4 一枚に、氏名、所属、原稿発送年月日、連絡先 (電話番号、E メールアドレス、住所)、論文の表題、希望する募集枠のカテゴリーを記載したもの)

なお、提出物は原則として返却しない。

8 郵送に際しては書留で送付すること。また封書には氏名、所属、連絡先を記載し、表には「投稿原稿在中」と朱書すること。

9 投稿論文は、上期においては 8 月 1 日から 8 月 31 日までの期間、下期においては 3 月 1 日から 3 月 31 日までの期間に受け付けるものとする。

◆学会発表および学会誌投稿の資格について

全国大学国語教育学会事務局

年2回の学会および学会誌刊行は学会活動として行われていますので、自由研究発表(・ラウンドテーブル)へのお申し込み、および、学会誌への投稿は会員資格を必要とします。新しく入会を希望される方は、入会までに一定の期間を要するため(常任理事会での承認・当該年度の会費納入)、発表申し込みおよび投稿の時期にお気をつけください。また、現会員の皆様におかれましては、会費滞納による会員資格停止の規定がございます点、どうぞご留意下さい。

◆第126回名古屋大会 2014年度第1回総会議事録

全国大学国語教育学会事務局

2014年5月17日(土)13時10分～14時10分

ウインクあいち5階小ホール1

進行 山元隆春常任理事

総会に先立ち、名古屋大会の準備状況について、佐藤洋一大会実行委員長より報告があった。10時30分現在で457名参加(事前申し込み349名、当日申し込み108名)。

総会議長として田中宏幸氏が選出された。

1. 議事

(1) 学会新役員について

鶴田清司新理事長より挨拶の後、新役員について報告があり、承認された。

(2) 2013年度事業報告

甲斐雄一郎常任理事より報告があり、承認された。

(3) 2013年度会計報告・監査報告

甲斐常任理事より予算と決算の報告があり、承認された。

引き続き松崎正治監査より執行が適切かつ正確であることを確認したとの報告があり、承認された。

(4) 2014年事業計画

甲斐常任理事より報告があり、承認された。

(5) 2014年予算案

甲斐常任理事より報告があり、承認された。

なお、大会返戻金は雑収入として扱うため欄を削除したこと、姫路大会→兵庫大会に訂正したことについても説明があった。

(6) 今後の学会開催について

鶴田理事長より次のような報告があり、承認された。

- ・2014年度秋季 筑波大会 11月8日、9日
- ・2015年度春季 兵庫大会 5月30日、31日
- ・2015年度秋季 西東京大会 10月24日、25日

2. 報告

(1) 『国語科教育』第76集編集状況について

中村敦雄編集委員長より次のような報告があった。

- ・投稿論文28編、採択2編、修正採択4編、修正再審査4編。
- ・記名論文が2編あった。今後は審査しない。
- ・全て同じ文字の大きさに書いて欲しい。
- ・第77集は河野順子委員長、甲斐雄一郎副委員長。
- ・書評対象図書

山元隆春『読者反応を核とした「読解力」育成の足場作り』

松山雅子『イギリス初等教育における英語(国語)科教育改革の史的展開—ナショナル・カリキュラム制定への諸状況の素描』

府川源一郎『明治初等国語教科書と子ども読み物に関する研究—リテラシー形成メディアの教育文化史』

(2) 各部門報告

1) 研究部門

山元部門長より次の報告があった。

- ・公開講座は従来通り大会期間中に実施する。
- ・課題研究をISDNのついた著作として刊行準備中。

2) 広報部門

鶴田前部門長より次の報告があった。

- ・国立情報学研究所の学会誌電子化事業が平成27年度に終了する。今後の対応について検討していく。

(3)『国語科教育学研究の成果と展望Ⅱ』について

望月善次常任理事より、現在までに520冊販売したとの報告があった。

◆学会事務局からのお知らせ

全国大学国語教育学会事務局

(1)『国語科教育学研究の成果と展望Ⅱ(2010年版)』の会員価格での販売について

同書の本体価格は5000円(税込5400円)ですが、会員に限り3500円(税込3780円、送料無料)で受け付けております。

ご希望の方は以下の情報を添えて学芸図書(下記)までご連絡ください。

- (1)お名前、(2)ご住所、(3)電話番号・メールアドレス、(4)ご希望冊数
(メールも可)

〒101-0064 東京都千代田区猿楽町1-3-1

学芸図書株式会社 TEL 03-3291-3023 FAX 03-3219-6112

担当 神戸 (Email: kanbe@lion.ocn.ne.jp)

(2)今後の日程の概略について

- 8月末 『国語科教育』第77集投稿原稿締め切り
- 9月末 『国語科教育』第76集発行
- 11月8日・9日 第127回筑波大会
- 1月末 「学会通信」第2号発行
- 3月末 『国語科教育』第78集投稿原稿締め切り
『国語科教育』第77集発行

◆新入会員のお知らせ(受付順、敬称略)

PDF版では省略。

全国大学国語教育学会事務局

〒162-0801

東京都新宿区山吹町 358-5

(株)国際文献社内

電話：03-5389-3012

Fax：03-3368-2822

Eメール：jtsj-post@bunken.co.jp